

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成26年10月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	2,304	9.3	473	7.0	471	7.0	424	6.8
26年2月期第2四半期	2,108	△0.2	442	7.1	440	6.2	397	△13.2

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 420百万円 (5.7%) 26年2月期第2四半期 398百万円 (△13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	14.75	—
26年2月期第2四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	4,687	4,032	86.0	141.51
26年2月期	4,768	4,019	84.3	137.68

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 4,032百万円 26年2月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,715	7.0	951	7.8	948	7.7	858	3.2	30.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	33,637,249 株	26年2月期	33,637,249 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	5,144,056 株	26年2月期	4,444,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	28,761,888 株	26年2月期2Q	29,466,317 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

当社は、以下のとおり投資家説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年10月14日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の継続により企業収益の改善が見られる一方で、消費税増税後、個人消費は低調に推移しており、先行き不透明感を残すものの景気回復基調は継続しております。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲は回復傾向にあり、当社の戦略地域である静岡県においても有効求人倍率は1.08倍(平成26年8月)となっており、雇用情勢の改善傾向が見られます。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力の強化に努めました。正社員向け求人サービスの強化にも取り組み、正社員の転職・就職情報サイト『JOB(ジョブ)』の連動イベントである『シゴトフェア』を静岡地域の東部、中部、西部地区で各1回、名古屋地域で2回、昨年に引き続き開催し、人材サービスを拡大した取り組みを展開しております。

また、前連結会計年度に定期刊行化したペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE(ワンダフルスタイル)』においては、リアルイベント『DOG(ドッグ)！フェスタ』を静岡県内東部地区で継続開催することで、商品との融合性を深め、収益基盤の拡大に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,304百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。売上原価は、649百万円(前年同四半期比10.0%増)、販売費及び一般管理費は、人件費等が増加したため、1,180百万円(前年同四半期比9.8%増)となり、営業利益は473百万円(前年同四半期比7.0%増)、経常利益は471百万円(前年同四半期比7.0%増)、四半期純利益は424百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、求人需要の回復により、主力事業である『DOMO(ドモ)』、『DOMO NET(ドモネット)』及び『JOB』の販売が好調に推移した結果、売上高は1,896百万円(前年同四半期比9.1%増)、セグメント利益は747百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、フリーペーパーの取次において既存顧客の掲出量が拡大し、首都圏・中京・関西地域において販売が増加し、また、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだ結果、販促支援事業における売上高は421百万円(前年同四半期比14.9%増)、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,687百万円(前連結会計年度末比1.7%減)、負債が655百万円(前連結会計年度末比12.4%減)、純資産が4,032百万円(前連結会計年度末比0.3%増)となりました。また、自己資本比率は86.0%となりました。

資産の部では、流動資産が3,803百万円(前連結会計年度末比2.9%減)となりました。内訳として、現金及び預金が2,887百万円(前連結会計年度末比2.7%減)、営業債権(受取手形及び売掛金)が495百万円(前連結会計年度末比12.0%減)等となったためです。

固定資産は883百万円(前連結会計年度末比3.9%増)となりました。内訳として、有形固定資産が628百万円(前連結会計年度末比1.5%増)、無形固定資産が83百万円(前連結会計年度末比5.8%増)、投資その他の資産が171百万円(前連結会計年度末比12.4%増)となったためです。

負債は655百万円(前連結会計年度末比12.4%減)となりました。これは、未払金が400百万円(前連結会計年度末比0.7%増)、賞与引当金が97百万円(前連結会計年度末比28.8%減)等となったためです。

純資産は4,032百万円(前連結会計年度末比0.3%増)となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当

により利益剰余金が3,825百万円（前連結会計年度末比5.2%増）、自己株式の取得により自己株式が792百万円（前連結会計年度末は617百万円）となったためです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて81百万円減少し、2,887百万円となりました。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、409百万円（前年同四半期は377百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が471百万円、減価償却費が29百万円、売上債権の減少額が67百万円等となった一方で、賞与引当金の減少額が39百万円等となったためです。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、82百万円（前年同四半期は22百万円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出が46百万円、有形固定資産の取得による支出が21百万円、無形固定資産の取得による支出が15百万円等となったためです。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、408百万円（前年同四半期は396百万円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出が176百万円、配当金の支払額が231百万円となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期業績予想につきましては、平成26年4月8日付「平成26年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968,701	2,887,212
受取手形及び売掛金	563,068	495,603
その他	385,861	421,555
貸倒引当金	△400	△400
流動資産合計	3,917,232	3,803,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	155,020	162,183
土地	444,475	444,475
その他(純額)	19,711	21,916
有形固定資産合計	619,206	628,574
無形固定資産		
ソフトウェア	68,383	72,955
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	78,989	83,561
投資その他の資産		
その他	154,534	173,023
貸倒引当金	△1,958	△1,481
投資その他の資産合計	152,575	171,542
固定資産合計	850,771	883,678
資産合計	4,768,004	4,687,650
負債の部		
流動負債		
未払金	397,370	400,237
賞与引当金	136,365	97,152
その他	211,181	156,373
流動負債合計	744,918	653,763
固定負債		
繰延税金負債	3,582	1,608
固定負債合計	3,582	1,608
負債合計	748,500	655,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	3,634,938	3,825,663
自己株式	△617,965	△792,505
株主資本合計	4,013,396	4,029,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,107	2,696
その他の包括利益累計額合計	6,107	2,696
純資産合計	4,019,503	4,032,277
負債純資産合計	4,768,004	4,687,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	2,108,534	2,304,274
売上原価	591,015	649,959
売上総利益	1,517,519	1,654,314
販売費及び一般管理費	1,074,634	1,180,347
営業利益	442,884	473,967
営業外収益		
受取利息	298	348
受取賃貸料	350	422
その他	855	472
営業外収益合計	1,503	1,242
営業外費用		
自己株式取得費用	1,905	1,905
投資事業組合運用損	1,325	1,051
その他	604	940
営業外費用合計	3,835	3,897
経常利益	440,552	471,312
税金等調整前四半期純利益	440,552	471,312
法人税、住民税及び事業税	37,565	43,353
法人税等調整額	5,768	3,689
法人税等合計	43,333	47,042
少数株主損益調整前四半期純利益	397,219	424,270
四半期純利益	397,219	424,270

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	397,219	424,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	782	△3,410
その他の包括利益合計	782	△3,410
四半期包括利益	398,001	420,859
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	398,001	420,859
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	440,552	471,312
減価償却費	22,771	29,175
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△809	△477
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,458	△39,213
受取利息及び受取配当金	△298	△348
投資事業組合運用損益(△は益)	1,325	1,051
売上債権の増減額(△は増加)	48,482	67,465
たな卸資産の増減額(△は増加)	△510	480
未払債務の増減額(△は減少)	△61,765	△3,482
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,848	23,594
その他	△18,908	△47,888
小計	375,532	501,670
利息及び配当金の受取額	296	425
法人税等の支払額	△2,268	△92,409
法人税等の還付による収入	3,489	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,051	409,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,423	△21,142
有形固定資産の除却による支出	—	△1,958
無形固定資産の取得による支出	△7,274	△15,276
敷金及び保証金の差入による支出	△886	△46,227
敷金及び保証金の回収による収入	287	1,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,296	△82,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△189,989	△176,597
配当金の支払額	△206,391	△231,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,381	△408,282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,627	△81,489
現金及び現金同等物の期首残高	2,465,852	2,968,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,424,225	2,887,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成26年4月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が174,539千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において792,505千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
	情報提供	販促支援	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,738,996	354,778	2,093,774	14,759	2,108,534	—	2,108,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	11,760	11,854	—	11,854	△11,854	—
計	1,739,090	366,539	2,105,629	14,759	2,120,388	△11,854	2,108,534
セグメント利益	680,225	61,956	742,181	8,876	751,057	△308,172	442,884

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額△308,172千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△310,392千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,896,572	407,701	2,304,274	—	2,304,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	13,473	13,553	△13,553	—
計	1,896,652	421,175	2,317,827	△13,553	2,304,274
セグメント利益	747,444	64,101	811,546	△337,579	473,967

(注) 1. セグメント利益の調整額△337,579千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△339,799千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。